

坂東会

No.140

令和5年11月1日号



八代目所蔵の

浮世絵鑑賞

「月雪花名残文台」

歌川豊国画（初代）



画像提供：国立劇場

文政三年（八二〇）九月、江戸中村座で上演された浄瑠璃「月雪花名残文台」から『玉兔』を描いたものです。三代目坂東三津五郎による七変化の舞踊のひとつで、一三八号で取り上げた「浅妻船」もそのひとつでした。

前号の『松魚売』や一三六号で取り上げた『納豆売り』など、日本舞踊には江戸時代の町中でみられる物売りの風俗を取り入れたものがありますが、『玉兔』には団子売りの風俗が読み込まれています。詞章にある「月の影勝」がそれで、団子を搗きながら売りに来た影勝団子を指します。影勝団子は飛び団子とも呼ばれていたようで、「月の影勝」に続く詞章にも「飛び団子」と唄われています。その歴史は享保（一七一六～一七三六）頃からといわれ、明治期まで伝わっていたといえます。

三津五郎の袖なしの着物には、飛沫（しぶき）をあげる波の模様が描かれています。辻番付や絵本番付に描かれた衣裳には、波だけでなく、その上で跳ねる兎も描かれています。これは縁起物として好まれた「波に兎」の図柄を意識したものだと思われます。

背景に描かれた大きな満月の中には、戯作者の山東京山による「はやがはり（早替り）はねたうさぎの おもひ月 大入りに入る 人の 山のは」の歌があります。

（根岸美佳・学芸員）

*八代目家元が国立劇場へ寄贈した浮世絵は約一七〇点以上にのぼり、その中から主に踊りに関するものを取り上げ鑑賞します。

人の温もりや対面でのコミュニケーションの尊さ

家元 坂東 巳之助



コロナ禍の心配から長らく浅草見番をお借りして行っておりました名取試験及び名取式・師範試験ですが、九月に実に四年ぶりに自宅稽古場にて執り行いました。

本場に久しぶりのことで、なおかつ二人の俣が遊び盛りな事もあり当日までの自宅の準備は大変な苦勞でしたが(笑)、祖父の代より続いてきた形が復活出来て喜ばしい事でした。この四年間、大変な時節を乗り越えながらお稽古に励まれ、試験に挑戦・合格された方々がこれから先いつそうの経験を重ねて、未来の坂東流を共に支えていってくれる事を楽しみにしております。

また、六月に東京、九月には高知・熊本で講習会を開催する事も出来ました。これも東京と熊本は約四年ぶり、高知は私が家元となつてから初めての訪問でした。

東京では四年前に取り上げた『河千鳥』の前半部分のおさらいと新たに後半部分を、高知・熊本では『流星』を題材に役を代わる代わる踊っていくお稽古を致しました。

各地の皆様にお目にかかり、共にお稽古をすることで、コロナ禍でなかなか感じる事の出来なかった人の温もりや対面でのコミュ

ニケーションの尊さを思い出させてもらえたような気がいたします。

これらの事が実現出来たのも様々な規制が緩和されるなどして世の中が元あった状態に戻ろうとしているお陰ではありますが、恐ろしいウイルス自体が消えてなくなつたわけではありませんから、引き続き各々の身を守るための注意・配慮は怠らぬよう気をつけて参りましょう。

その上で、皆が共に坂東流を守っているのだという意識をお互いにより高めあっているよう、これからもコンスタントに講習会などの機会を設けていけたらと思っております。



8月納涼歌舞伎では家元が『団子売』に出演され(杵造)、多くの会員が観劇に



各地で家元講習会を開催

今夏は東京ほか、四国、九州で家元講習会が開催されました。会員同士が顔を合わせ、家元のご指導のもとお稽古に励みました。

東京 六月二四・二五日 / 浅草見番 / 講習曲『河千鳥』

スツポンを表現することの難しさを実感

東京は前回(令和二年開催)に続いて、『河千鳥』(後半)のお稽古を行いました。西日本ゆかた会が終わったばかりの関西から参加する方もおり、熱のこもったお稽古が行われました。

関西から参加し、充実した時間を過ごして

呂扇

関西より参加いたしました。前回京都で『河千鳥』の前半を教わりましたのがもう四年前。気温三度の中、冷房なしの厳しい暑さは強烈に印象に残っておりますが、肝心の振り付けはノートを見返してもなかなか思い出せず心もとないことでした。

今回の参加者四四名のうち半数の方が初めてということもあり、前

半の復習も丁寧にしていただきました。お家元は曲や振り付けの意味、人間として踊るところとスツポンで踊るところの区別、立ち位置など細かい指導をしてくださいました。私が一番難しいと感じたのはスツポンらしく見せるための「手」です。ともすれば「幽霊のように見えてしまうよ」とお家元のご指摘通りで、うまく表現するにはまだまだ時間がかかりそうです。

講習会は午後一時から四時まで、休憩の三十分を除いては一生涯懸命踊りました。日頃こんなに踊ることはありませんので膝をガクガクさせながらも、せっかく来た浅草を散策しお食事もいただくなど、充実の時を過ごさせていただきました。皆さまありがとうございます。

『河千鳥』の奥深さを実感

信鬼音

『河千鳥』の歌詞にもあるような「梅雨晴れ」の二日間、三年余りにも及んだコロナ禍を経て、ようやく続きの「後半」の家元講習会が開催され何よりも嬉しく思いました。お家元の踊りのお手本と懇切丁寧な解説により『河千鳥』の魅力と奥深さが伝わるとても貴重な経験となりました。

人に食べられてしまうという運命を悲観するスツポンと「それでこそ成仏できる」と親を諭す子スツポン。一見滑稽味にあふれる内容ですが、見た目のスツポンらしさはもちろん、スツポンの気持ち、スツポンから見た「人間界」などの描写をあくまでも品格のある「素踊り」の枠組みに内包しなければならぬ

難しさがありません。強いて言えば役者の豊かな表現力を以て成立する曲という側面もあり、お家元の細かいご指導により、どのようにしたら「観ている人に伝わる踊り」を目指すことができるのか、さまざまなことを学ばせていただきました。

『河千鳥』に限らず、一つひとつの振りに込められた思いや意味を丁寧に読み取ることがいかに大切なかを改めて実感しました。心に描いた風景や心情が「伝わる踊り」として体現できるようにするためには、感性を磨きながら地道にお稽古を積み重ねることに尽きる、と痛感しました。





四国 九月二・三日 / 薫的会館 / 講習曲『流星』

見たままを受け止め真摯に芸と向き合う

四国での講習曲は初めての『流星』。八太さん、野里行さんのお二人が初めて講師を担当されての講習会となりました。

初めて講師として
参加させていただきました

野里行

お家元講習会が高知県で開催され、私は初めて講師として参加させていただきました。

講習会の演目は清元『流星』。そのなかでも特に役変わりの多い箇所をお勉強させていただきました。

まずお家元より『流星』の物語について細かな点までお話をいただき、その後、役が変わった際の目線の変化や顔の表情、身体の使い方などについて実践でご指導いただきました。また、小道具である角の扱い方についてもお話をいただき、本舞台で踊る際の知見を得ることができました。

高知講習会に参加された方は約四十人にのぼりましたが、貴重なお家元講習会を開催していただけるからこそ、坂東流としての芸が脈々と続いていくのだと実感いたしました。私自身、この講習会に同行させていただいたことで得た貴重な体験を、他の演目にもつなげていける

様に精進したいと思います。

お世話になりました皆様にご心より、お礼申し上げます。
ありがとうございます。

お家元の言葉を胸に
精進します！

玉嗣矢

二日間にわたる高知県での講習会、まことにありがとうございました。

名前をいただいてから楽しみに待っていた講習会。お家元様の『流星』を目の前で見ることができ、ご指導いただけたいことは生涯の宝物になりました。美しい型や目線使い、指先、つま先まで緊張った所作が曲の間にびたりと

合い、その素晴らしさに目を見張りました。また、感情や身長差を感じる巧みな役の演じ分けを目の当たり



にしておどろくばかりでした。何ぶん初めての参加で、ついてゆくのが精いっぱいではありましたが、お家元様のお言葉「見たままを受け止めることが芸に対する真摯な向き合い方」を胸に芸を磨き、たゆまず精進いたします。

お家元様、講師の先生方には惜しみなく二日間踊っていただき、本当にありがとうございました。

丁寧なご指導に『流星』のおもしろさを実感

四国に続き、九州でも『流星』の講習会が行われました。参加者はなんと八九名。阿蘇のホテルの大広間を貸し切った開催となりました。

講習会を終えて

知賀八

今年の講習会は新型コロナウイルス感染症の影響で四年ぶりに熊本、阿蘇で行われ、お名前をいただいて初めての参加だったため緊張した気持ちで臨みました。

今年はお家元様にお越しいたいただき、『流星』をご指導いただきました。



踊りの中に四つの人物の切り替わりがあり、お家元様は一つひとつのよな情景なのかどのような気持ちなのか説明していただき、それらを理解して踊ることが大切だと学びました。また、このような大人数で稽古をすること自体が初めての経験だったため、とても新鮮で来年も楽しみなになりました。

今年には発表会もありますので、お家元様からご指導されたことを忘れずに今後のお稽古も励んでいきます。お家元様、講師の先生方ありがとうございます。三与昭先生に尽力いただき感謝申し上げます。

いざ講習会……、
とっても楽しかった！ 明起光

コロナ禍が明け、四年ぶりに坂東流九州講習会が開催されました。コロナ禍前は、夏になると先生方が講習会に向けてお稽古されているのを見るのが楽しみでした。

今年が開催され、参加できることになりました。五十の手習いの私はどの演目になるかドキドキでした。ある日先生から、『流星』に決まったよ！と。

『流星』大好きです！観るのは！……踊るんですか？！

お稽古が始まり、手も足もできません。気ばっかり焦り右と言われると左が出たり、くるっと振り向くと真つ白になり……。

いざ講習会……、とっても楽しかったです！お家元が、お手本と悪い見本を実際に踊ってください、とても解りやすく、振りの細かい意味、踊るといふことを説明していただき、とても勉強になりました。

講習会がなければ、『流星』を踊ることはなかったと思い、良い経験をさせていただきました。お家元、講師の八大先生、野里行先生、三与昭先生はじめ役員の先生方、覚えの悪い私に一所懸命教えてくださった師匠に、とても感謝しております。ありがとうございます。

歌舞伎座で家元の舞踊を観る時は、「今度の講習会はこの舞踊かな？」と、思いながら客席にいることと思います。



ご報告

坂東勝久伸さん、 新潟市より感謝状

勝久伸さんはこのたび、新潟市における日本舞踊の普及と発展に大いに貢献しているとして、(二財)新潟市音楽芸能協会代表委員・日本舞踊協会新潟支部監査より感謝状を授与されました。これは長きにわたり、新潟市芸能まつりをはじめとする新潟市における日本舞踊会やその他の行事に参加するほか、新潟市中央区に開いた教室において後進の指導に尽力した功績によるものです。

勝久伸さん、おめでとうございます。



感謝状には「あなたは長年にわたり音楽芸能を愛し後進の指導育成に情熱をそそがれ本市の文化向上の大きく貢献されました。よってその功績を讃えてここに感謝の意を表します。平成四年十一月十八日 新潟市長 中原八一」と記されている。

投稿

明治神宮の奉納舞踊が四年ぶりに屋外で開催。 その節目に踊らせていただきました

坂東富起子

明治神宮で春と秋に行われる奉納舞踊は、二〇一九年にコロナ感染が広まって以来、観客の密集を避けて外拝殿内の屋内でひっそり行われてきましたが、今春、四年ぶりに屋外の神前で奉納が再開され、一般公開されました。

その折、思いがけず日本舞踊協会からお声をかけていただき、長唄『蓬萊』を務めさせていただきました。奉納舞台は、朱の欄干に囲まれた黒い漆塗りの舞楽殿。敬虔な雰囲気が高まり、お祓いと神前参拝(玉串奉納)をすませたあと、客殿の楽屋から長く敷かれた“うすべり”の上を進んで神前へ。周囲は、行動緩和でどっと日本に押し寄せた外国人観光客であふれ、まるで異国にいるような風景に驚くばかりでした。

時折の突風にたじろぎながらも奉納舞踊は無事終了しましたが、神宮の森に響き渡る長唄とお囃子。たび重なる天災、人災を乗り越えて広大な境内を埋め尽くす木々。神宮外苑の再開発で樹木の伐採が懸念されるなか、まぶしい新緑が令和の人々を見下ろしていました。



5月2日、明治神宮で行われた奉納舞踊で『蓬萊』を踊る富起子さん

東西ゆかた会



お客様でにぎわうロビー



チャリティーゆかた会での緒兎くん。
手に持っているのは、出演者の方たちへのお手紙

東京チャリティーゆかた会

第4回坂東流東京チャリティーゆかた会を7月29日(土)深川江戸資料館にて開催しました。連日の猛暑にもかかわらず当日券は完売！多くの方々にご来場賜り、盛況な会となりました。心より感謝申し上げます。



開演前の居処合わせ

お客様のくすつと笑う声が聞こえ、緊張も和らぎ、お稽古通りに楽し



息のあった『河千鳥』の舞台

曲の面白さが引き立つような踊り方の指導を受けました。ユーモラスなすっぽんの振りにお客様は、この曲の面白さが引き立つような踊り方の指導を受けました。

『河千鳥』を踊って

一る あき



く踊ることができました。出演者の方々の熱気を感じつつ、居処合わせから始まり、一つひとつ丁寧につきかけを確認させていただいたことで、安心して本番を迎えることができました。この貴重な体験を忘れずに、いろいろな踊りに挑戦し精進していきたいと思います。

チャリティーゆかた会で初舞台

杉本榮子



坂東流とのご縁をいただき勝雅昇師匠の懇切丁寧な指導のもと、借越ながら初舞台を踏ませていただきました。

八二歳で初舞台、不安な気持ちでいっぱいでした。毎回のお稽古で音合わせや目線の位置等、また他の方のお稽古を見て学ぶことも大切と繰り返し指導いただきました。何も下地のない高齢者の指導は大変ではなかったかと感謝でいっぱいです。

師匠は「日々のお稽古がいつも大

第5回東京チャリティーゆかた会 出演者募集！

名取の方も一般の方も舞台上立って芸の道を広げましょう。参加お申込みをお待ち申し上げます。名取だけでなく、一般のお弟子さんも出演することができます。

日時／令和6年8月3日(土)
会場／深川江戸資料館小劇場
出演費／38,000円(入場券10枚が含まれています)
入場券／1,000円
出演時間／名取10分以内、一般5分程度
※演目は古典、小唄などの小曲。

*出演ご希望の方は事務所へお問い合わせください。番券が揃い次第締め切りとさせていただきます。

切ですよ」と言われております。「稽は考える」「古はいにしえ。つまり稽古とは古いものから考えを学ぶという事です。新しいスキルを身に付けるためには、昔を生きた人々に想いを馳せ、その歴史や文化を継承することが必要と学びました。これからもお稽古の意味をよく理解し、日々精進していきたく思っております。本当にありがとうございます。

踊りに関するあれこれ、

知りたいな

舞踊譜

会員の方たちの「知りたい」をご紹介しますコーナーです。
「踊りの振りはどうやって書いたらいいの？」という声をよく聞きます。今回取り上げるのは「舞踊譜」。略画の書き方を簡単にご紹介しましょう。

略画例

ポイント!

略画は正面から見た向きで書きます。

基本略画



左首振り



下向き



うしろ



上向き



右首振り



下手上向き



下手向き



正面



上手向き



上手左上向き

ひざ打ち X



左足前

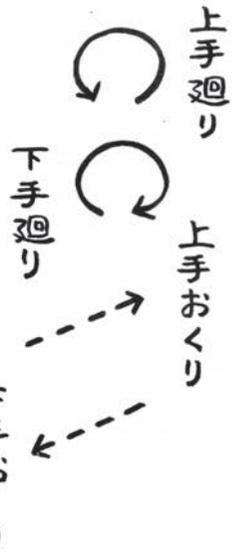


基本(東)



手打ち

右足前



足踏み



右 左



閉じ扇



扇裏



扇表



伏せ扇



表扇

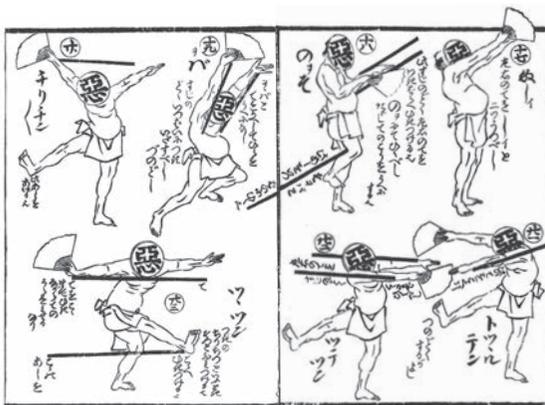


握り扇

略画を書いて
みました！



葛飾北斎『踊独稽古』の「悪玉おどり」の一部を舞踊譜にしてみました。「悪玉おどり」は『三社祭』『願人坊主（うかれ坊主）』の中でも踊られますが、『願人坊主』は歌詞もほとんど同じなので比べてみると面白いです。



葛飾北斎『踊獨稽古』国立国会図書館デジタルコレクション



●家元が11月歌舞伎座夜の部で『三社祭』悪玉を踊られます(吉例顔見世大歌舞伎夜の部〈11月2日(木)~25日(土)〉)

坂東会のできごと

令和5年4月～令和5年9月

新型コロナウイルスが5類感染症に移行となり、東京・四国・九州の各支部で家元講習会が開催されました。令和6年～7年に東京・西日本・九州の3都市で開催予定の「チャリティー舞踊会」に向かって各支部が奔走しています。

四月五日(水)

【理事会】

- 坂東会創立一〇〇周年記念舞踊会記念品の余分
- 聖明福祉協会・視覚障害者福祉センターに寄付をする。
- チャリティー舞踊会
- 今年度から申し込み時に出演申込金十万円を請求する。
- 名取・師範試験
- 今秋から家元宅で行う。
- 令和七年西日本チャリティー舞踊会十一月一日(土)祇園甲部歌舞練場に決定。

四月七日(金)

【広報委員会】

- 会報一三九号初校

四月十日(月)

【合同会議】

- 出席者／久三之助・友女香寿・蝶・京弘女・勝規・三千踊・三太映・喜美生・ありか・はつ花・寿々風・鷹野
- ビデオ上映会
- 第五回の会計報告。第六回の検討。
- 家元講習会(東京)について
- 「河千鳥」後半を依頼する。
- その他講習会
- 踊りの基本の講習会を検討する。

【広報委員会】

- 会報一三九号再校

四月十四日(木)

【広報委員会】

- 会報一三九号色校

四月二十六日(水)

【広報委員会】

- 会報一三九号送付作業

五月十日(金)

【理事会】

- 東京チャリティーゆかた会
- 番組編成を行った。
- 次年度からは参加費の入金をもって申し込み確定とする。
- 西日本チャリティーゆかた会
- 読売愛と光の事業団を通じ福祉団体を招待する(五十名)。
- 家元講習会「河千鳥」
- 参加費二万円
- 令和六年定時会員総会
- 会場・日時・内容を検討する。
- 第六回ビデオ上映会
- 候補作品の映像を確認し選定。
- 扇供養
- 企画部で計画する。

五月二十六日(金)

【広報委員会】

- 海外向け政府広報WEB雑誌「ハライティングジャパン」取材対応

六月五日(月)

【理事会】

- チャリティー舞踊会
- 番組編成を行った。
- 出演者のチケット追加注文は千円引きで受け付ける。
- 令和六年定時会員総会
- 三月二十八日(木)東京會館に決定。
- 令和六年チャリティーゆかた会
- 東京／七／八月中旬で検討する。
- 西日本／六月で検討する。

六月十二日(月)

【合同会議】

- 出席者／久三之助・友女香寿・蝶・京弘女・勝規・三千踊・三奈慧・三太映

七月二日(土)三日(日)

【試験曲】北州「藤娘」「松の緑」講習会(祐天寺稽古場)

- 喜美生・はつ花・寿々風・鷹野
- 東・西チャリティーゆかた会
- 当日の担当割。
- 家元講習会「河千鳥」
- 企画部より詳細の報告。
- 第六回ビデオ上映会
- 十月十四日(土)午後二時エッサム神田ホールに決定。
- 「大坂万歳」旅「扇的」を上映。
- 波留加氏・三裕起氏・若梢氏に登壇を依頼する。
- チャリティー舞踊会
- かつら合わせの担当割。
- 八月納涼歌舞伎家元出演「団子売」
- 案内を首都圏の会員に送付する。
- 六月十七日(土)
- 第三回坂東流西日本チャリティーゆかた会(先斗町歌舞練場)
- 六月二十四日(土)二十五日(日)
- 家元講習会「河千鳥」(浅草見番)
- 七月十一日(火)
- 【関西支部委員会】
- 出席者／三勇寿・弥余伎女・白扇・鷹野
- 西日本チャリティーゆかた会
- 会計報告及び反省。
- 当日会場募金は四〇、九三八円。
- 次回は令和六年六月十五日(土)先斗町歌舞練場に決定。
- チャリティー舞踊会開催年はゆかた会を開催しない方針。
- 令和七年西日本チャリティー舞踊会
- 申し込み状況の報告。
- 坂東会創立一〇五周年記念演目として常磐津の演奏で三演目(温子師・理事・関西支部委員各一演目)を検討。
- 家元出演していたきたい。

八月七日(金)

【理事会】

- 東京チャリティーゆかた会
- 会計報告及び反省。
- 当日会場募金は四二、四〇〇円
- 次回は令和六年八月三日(土)深川江戸資料館に決定。
- 令和六年東京チャリティー舞踊会
- 浅草公会堂を候補とし十一月、十二月の抽選会に参加する。
- 九月二日(土)三日(日)
- 四国家元講習会「流星」(高知薫的会館)
- 九月四日(月)
- 【理事会】
- チャリティー舞踊会
- 業者の出店、弁当販売を検討。
- 今年度は演目解説を見合わせる。
- 出演演目明細の資料を確認。
- 令和六年東京チャリティー舞踊会
- 坂東会創立一〇五周年記念演目について、相談役・理事合同会議を開催し内容を検討する。



八月七日(金)

【理事会】

- 試験曲「北州」「藤娘」「松の緑」講習会(祐天寺稽古場)
- 七月二十九日(土)
- 第四回坂東流チャリティーゆかた会(深川江戸資料館小劇場)

青年部活動報告 (令和5年4月～9月)

第67回「青年部第3回研究発表会」

日時／令和5年9月17日(日)
 場所／なかの芸能小劇場
 内容／部員によるグループ発表(調べ学習発表及び実演発表)
 発表者／1. 長唄『静と知盛』より静 扇弘
 2. 長唄『風流船揃』 映琴・舞花
 3. 義太夫『団子売』 映志保・加都映
 4. 長唄『まかしょ』 光有
 5. 清元『三社祭』 以緒莉・佳緒乃
 参加人数／現役19名、卒業生14名
 ※ページ下段で詳細を報告します。

「和文化はぐくみプロジェクト」 令和5年4月～9月

青年部OBと現役部員による同プロジェクトの活動を下記の通り行いました。

- 風呂敷(富三乃、喜美生、幸緒里)／東海大高輪台中等部(令和5年6月30日)
- 浴衣の着付け(富三乃、加代壽、喜美生、幸緒里)／世田谷区立桜木中学校(令和5年7月11日)
- 日本舞踊について(富三乃、加代壽、喜美生、幸緒里、喜美彩、岳優貴)／世田谷区立桜木中学校(令和5年9月26日)

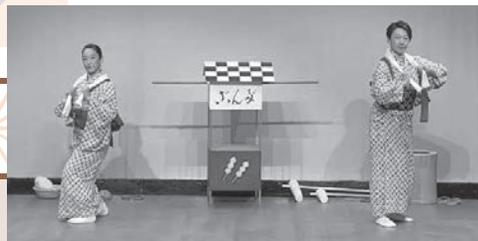
青年部で研究発表会を行いました

発表の場があることの大切さを実感

若手が研究した成果を自主的に発表する場として実施されている研究発表会も、今回で3回目となりました。



青年部OGもまざったの記念撮影



団子売

会冒頭では、家元より「部員の研究の成果を見て、流儀のこれまでとこれからに考えを巡らせ有意義な時間にしてほしい」とのお言葉をいただきスタート。5組の出演者は、小道具や衣裳の制限があるなかでの表現を追求したり、自分の苦手分野に挑戦したりと、それぞれの課題に向き合い研究の成果を発表しました。

発表後には主にOGの方々から質問やアドバイスもいただき、明確な目標に向かって努力することや、発表の場があることの大切さを実感できる会となりました。

九月五日(火)

【広報委員会】

● 会報一四〇号編集会議

● 九月九日(土)十日(日)

● 師範試験・名取試験(家元宅)

● 九月十四日(木)

【相談役・理事会合同会議】

出席者／三津映・勝友・三津桜・久三

之助・友女香寿・蝶・京弘女・鷹野

● 坂東会創立一〇五周年記念企画(東京)

理事会案を相談役に提示し意見を伺った。

● 令和六年東京チャリティー舞踊会で一〇五周年記念演目として、群舞を一演目(勝友先生担当、一〜三名のもの)を一演目上演する。

● 出演者は相談役・理事が選出。

● テープ演奏とする。

● 九月三日(土)四日(日)

● 九州家元講習会「流星」(熊本阿蘇プラザホテル)

講習会
上映会



芸の伝承・第7回ビデオ上映会のお知らせ

第7回のビデオ上映会は平成25年に亡くなられた坂東三津弥先生の大和楽『三十石の夜舟』と勝友相談役振付の群舞2題、大和楽『お祭り』長唄『二つ巴』を上映します。



三十石の夜舟(三津弥)

チャリティー
舞踊会



第59回坂東流たすけあいチャリティー舞踊会を開催します
日程／12月5日(火)
会場／浅草公会堂
詳細は3ページをご覧ください。

令和6年坂東流チャリティーゆかた会出演者を募集します
■西日本チャリティーゆかた会
日程／令和6年6月15日(土)
会場／京都先斗町歌舞練場

■坂東流チャリティーゆかた会
日程／令和6年8月3日(土)
会場／深川江戸資料館小劇場
詳細は8・9ページをご覧ください。

試験



春の名取・師範試験
詳しくは事務所までお問い合わせください。

■名取試験・師範試験／3月を予定
会場／家元宅を予定
申し込み締切日／11月末日
※詳細は締め切り後、お知らせします。

舞踊会



会員の舞踊会の情報です。お切符など詳細は会主、または坂東会事務所までお問い合わせください。

■第14回 寛和会
日時／令和6年1月28日(日)
会主／坂東寛二郎・坂東寛十胤

坂東会創立105周年に向けて

チャリティー舞踊会にて、
105周年企画番組を催します

坂東会創立105周年は、東京、西日本、九州でのチャリティー舞踊会において「坂東会創立105周年記念企画番組」を設ける形として行います。詳細は決まり次第、会報等でお知らせいたします。

※105周年記念舞踊会として一般からの参加募集は行いません。

第60回坂東流たすけあい
チャリティー舞踊会

日程／令和6年11月or12月予定
会場／浅草公会堂

第9回坂東流西日本チャリティー舞踊会

日程／令和7年11月1日(土)
会場／京都祇園甲部歌舞練場

第3回坂東流九州チャリティー舞踊会

日程／令和7年開催予定
会場／未定

その他



富士・さくらの修了証の発行
流儀の曲である長唄『富士』、清元『せくら』を習得した方には、修了証

会場／浅草公会堂
入場料／5000円
■第9回 扇菊会
日時／令和6年3月10日(日)
会主／坂東扇菊
会場／浅草公会堂
入場料／5000円
※一部無料席あり

を発行します。お申込みの締切日は次の通りです。
締切日／2月10日、6月10日、10月10日
会員専用ページ情報満載！
坂東流ホームページをご活用ください
行事や会員の活動を順次アップしていきます。

※会員ページパスワード：bando100
■お稽古場紹介
掲載料／6000円(1年間)
掲載期間／年度末(3月末)まで
■お稽古場訪問
掲載料／5400円(1回)
掲載期間／約1カ月

令和7年開催



西日本チャリティー舞踊会参加者募集



令和7年11月1日(土)に開催が決まりました、西日本チャリティー舞踊会の出演者を募集しています。

会場は京都・祇園甲部歌舞練場(京都市東山区祇園町)。春には京都の風物詩「都をどり」が開催される舞台に立つことができるのは、めったにない機会です。日頃のお稽古の成果をご披露ください。

多くの方のご参加をお待ちしております。

申し込み方法/出演者(芸名)、演目(20分以内)、衣裳付きの可否を明記の上、坂東会事務所までご連絡ください。

申し込み受付/令和5年11月1日から。番組が揃い次第終了とさせていただきます。

※演目が重複した場合にはご相談の上、変更をお願いする場合があります。

青年部部員募集

青年部では随時部員を募集しています。毎年2~3回程度の講習会や勉強会を企画しており、若手の名取・師範名取が技芸を磨き、交流を深める活動を行っております。部員資格は満49歳までの名取で、親師匠の許可があればどなたでも入会できます。

ご入会希望の方は、青年部アドレス(seinenbu.rennraku@gmail.com)までお問合せください。年会費は3,000円です。

第51回

坂東会定時総会を開催します

会場を東京會館に移し、縮小なく賑やかに開催いたします。詳細はハガキにてお知らせいたします。

日程/令和6年3月28日(木)
会場/東京會館

試験曲講習会にご参加ください!

講習会の目的は名取試験、師範試験に向けたものですが、勉強のための受講希望者も受け付けています。実技講習、座学講習に参加して試験曲を学びましょう!



『藤娘』の実技講習

北州・藤娘

師範会員の方対象、ただし師匠と一緒に受講するのであれば名取の方も受講できます。

北州・日時/令和6年1月20日(土) 午前11時より

藤娘・日時/令和6年1月21日(日) 午後2時より

場所/祐天寺稽古場(目黒区祐天寺2-15-12)

受講料/北州10,000円、藤娘5,000円(名取受講料各5,000円)

講師代表/三津桜

松の緑

師範会員の方対象です。お弟子さんに名取試験をお考えの師範会員の方はご参加をお勧めします。

日時/令和6年1月21日(日) 午前11時より

場所/祐天寺稽古場(目黒区祐天寺2-15-12)

受講料/5,000円

講師代表/以津緒



座学講習の様子

新名取のご紹介

令和五年九月までの名取試験合格者です。

会員番号	芸名	本名	師匠
M-167	以弦 <small>いげん</small>	山根麻紀	以津緒
M-168	碧以 <small>あおい</small>	久野多実子	以津緒
M-169	扇太郎 <small>せんたろう</small>	須田政孝	扇菊
M-170	愛菊 <small>まなぐく</small>	室橋由紀	扇菊
M-171	香寿乃介 <small>かすのすけ</small>	池田アンネ優子	友女香寿
M-172	香寿柳 <small>かすりやう</small>	北川純子	友女香寿
M-173	想司 <small>そうじ</small>	井上想	啓

師範名取のご紹介

令和五年九月までの師範試験合格者です。

会員番号	芸名	本名	師匠
9-2507	寧々 <small>ねね</small>	千乃	
10-707	香寿由 <small>かすゆう</small>	友女香寿	
M-114	扇綾 <small>せんりょう</small>	扇菊	
M-117	以久実 <small>いくみ</small>	以津緒	
M-131	以翠 <small>いすい</small>	以津緒	

訃報

坂東佳津さんがご逝去されました

坂東会ホームページで動画配信中の「三津之丞を知る！」にも出演いただき、三津之丞お師匠さんについてお話くださった坂東佳津さんが、八月二十八日に逝去されました。八四歳でした。心からご冥福をお祈り申し上げます。

お悔やみ申し上げます

- 令和四年十一月八日 坂東秀美
- 令和四年十二月三日 坂東三芳樹
- 令和五年二月二日 坂東瑞鳳
- 令和五年三月九日 坂東志春香
- 令和五年三月十二日 坂東喜美世
- 令和五年四月 坂東三英邑
- 令和五年四月十六日 坂東靖三美
- 令和五年六月十四日 坂東三熙多恵
- 令和五年七月十七日 坂東伸扇
- 令和五年七月二十八日 坂東三栄京
- 令和五年八月二日 坂東佳津
- 令和五年九月 坂東古登晃
- 令和五年九月二三日 坂東三代伎女

編集後記

本当に、本当に暑い夏でした。その最中に、京都では西日本チャリティーゆかた会、東京ではチャリティーゆかた会を開催しました。加えて、東京、四国、九州の三カ所で開催された。少しずつコロナ禍前の坂東流坂東会に戻りつつあり、うれしいかぎりです。

さて、広報では会員の皆さまからの原稿・写真をお待ちしております。日々のお稽古で感じたこと、お稽古場の様子、舞踊会の感想など、踊りに関することでしたら何でも結構ですので、お寄せください。特に地方や海外の様子を知りたいという声も多く聞かれますので、ご協力のほどよろしく願っています。原稿は坂東会事務所までメールまたはファックス、郵送でお送りいただけますでしょうか。

年末には第五九回たすけあいチャリティー舞踊会(三ページ掲載)、来年三月には総会(十五ページ)に掲載を企画します。次回の総会は、会場が東京會館へと変更になりますので、どうかお気をつけくださいませ。

(広報部委員)

坂東会 第一四〇号

令和五年十一月一日発行

編集発行人 坂東会広報部

発行所 坂東会事務所

〒101-0047

東京都千代田区内神田二丁目十八番十一号 東京ロイヤルプラザ三〇一号

☎〇三(三五)八二二〇

FAX 〇三(三五)八二二〇

E-mail: bandokai@crux.ocn.ne.jp



清元「文屋」の舞台写真